

育成光線水生成器 氣施氣 活用の手引き書

<概要>

分子振動活生装置“氣施氣”の機能は、太陽から放射されている遠赤外線の中で4～14 μ 領域の波長を特に育成光線と言われておりますが、この4～14 μ の領域の波長を集中的に、永久的に放射されるように開発されたものです。

育成光線と呼ばれているこの波長は、正に読んで字のごとしで、動植物にとっては大変重要な波長で、この育成光線のおかげで、生命が維持されていると言われております。又、この地球は水の惑星と言われており、我々をはじめあらゆる生物は水が無くしては、生きてゆくことが出来ないことはご案内の通りです。

さて、分子振動活性装置・“氣施氣”からの育成光線波（エネルギー）を水に作用（転写）しますと、水の分子は瞬時に活性化されます。当社ではこの水を育成光線水と呼んでおります。

この氣施氣の用途は無限ですが、その使い方はとても簡単です。固定して使いたい場合は、水道管に挟み込むだけです。又、移動しながら使いたい場合は、氣施氣にホースを差し込んで持ち歩きながらでも、育成光線水を散水することが出来ます。いずれの方法でも、水は瞬時にエネルギー化され育成光線水となります。従っていつでも、どこでも、誰でも簡単に取扱うことが出来る装置です。

次に具体的な作業方法についてご説明します。

第一に、育成光線水で必要な種子を活性化させることが出来ます。

○育苗、直播の場合

まず育成光線水を容器に入れて下さい。そしてその中に袋ごと種子をいれる（浮かべる）そのままの状態です。1～2時間程度置くと、種は活性化されます。（とても重要な作業です）

その後、苗床へ播種して下さい。直播きはそのまま畑に播いて下さい。これだけの事ですが、良い作物を作るには大切な作業です。必ず実行して下さい。

発芽後は氣施氣水を必要に応じて散水するだけです。

○稲作については、種籾の浸漬作業を育成光線水で行って下さい。時間は従来通りです。その後の苗代にも育成光線水を散水して下さい。特質すべきは、この作業をすると収穫後、アミノ酪酸（ギャバ）が大幅に増加することが判っております。正に機能米の誕生です。

それぞれの作物に以上の様な作業を行う事で、人体には有害物質と言われている硝酸態窒素が大幅減少します。また、結果として病害虫被害も少なくなります。品質向上と同時に、

低農薬、無農薬栽培も可能になり、安全・安心の作物が出来上がります。

次に果物栽培についてご説明します。

果物類は永年作物のため、作業的には育成光線水の散水や散布作業が主になります。

基本的には薬剤の希釈水に育成光線水を使うことになります。殺菌と同時に樹を活性させます。散水の時期としては、新芽が出始める頃から育成光線水を散布してください。育成光線水はマイナスイオン水になっているので、圃場全体に散水することで、土壌のイオンバランスが良くなり、結果として病害虫の発生を抑えることになります。

マイナスイオンの多い水は、病害虫の不活化や、除菌力がありますので（当社は第三者機関について検査検証済み）、長い期間に亘り育成光線水を散布することで、自然と作物が育成光線エネルギーの影響を受けて、次第に活力を帯びて元気に成長します。その結果として品質の良い果物が生産されるようになってきます。又、収穫量はおのずと安定してきます。以上が作物全体に対する気施気水を利用した場合の説明でした。

次に養鶏・養豚について気施気の利用と効果についてご説明します。

まずは近年、鳥インフルエンザが大流行している事についてです。今年の春頃は全国的に鳥インフルエンザがはやり、沢山の養鶏場で被害が発生しました。国を挙げての対策に追われたことは記憶に新しいところです。

最大の原因は、何とんでも地球環境の悪化が挙げられます。しかしながら、鳥インフルエンザやその他についてもこれといった予防手段がないままになっています。何か有効な予防手段がないのでしょうか？

養豚の場合、豚舎に気施気を設置する（即ち、常時育成光線水を与える）ことで、出荷迄の生育日数が早まります。又、母豚の出産が安定し、育成率が向上します。（生産性の向上）枝肉も大変美味しく（脂肪分が細かく均等）、冷めても食感がよく、美味さバランスに優れた豚肉の生産が可能です。（養牛も同様）

最近になり、某企業さんから次の様な発表文がありました。その内容は、「ゴキブリをはじめ、ダニ、白アリ、蚊に至るまで、多くの病害虫類はプラスイオン状態の環境でしか生きられない。マイナスイオン状態の環境では、活動を停止してしまうか、死んでしまう」と書かれていました。

そんなある日に、親交のあるスーパーマーケットの会長さんが遊びに来られました。開口一番、『お陰であれを取付けてから（気施気の意味）全店（首都圏6店舗）でゴキブリが全く出なくなったよ！！』 私には寝耳に水の話でしたが、某企業の発表内容と全く同じ様の現象が身近に起きていた訳です。（育成光線水はマイナスイオン水です）

話に驚いたと同時に、瞬間的に氣施氣からの育成光線水を常時使えるような鶏舎であれば、鳥インフルの感染予防に繋がるのではないか？！

氣施氣の持つ新たな機能効果の確認と更なる効果の期待が高まった瞬間でした。

鳥インフルエンザやその他の病気について、プラスイオン環境か、マイナスイオン環境か？などの議論を聞いたこともありません。又、行ったこともありませんでした。この事柄は今後の病虫害防除対策への大きなヒントになる気がします。

氣施氣が生み出す育成光線水は、マイナスイオン水になっておりますので、病虫害対策にも効果があると考えております。減農薬栽培や無農薬栽培も可能だと考えております。

因みに、育成光線水は作物に有用な菌や微生物群類は活発になり、作物の成長を助けます。例えば、線虫がいなくなり、同時に放線菌が活発に活動します。マメ科作物の場合は根粒菌が活発になって、収穫量が大幅に増えることが報告されています。

過去の事例を挙げましたが、以上が氣施氣からの育成光線水の効力と効果です。

最後に、氣施氣・育成光線水で栽培、生育させた作物は、間違いなく食味が良くなります。蔬菜類においては、発がん性物質と言われている硝酸態窒素が大幅に減少する結果も出ております。

正に安全、安心作物作りが出来るということです。そして保存性（日持ち）が大変良くなります。これは細胞内の保水力が各段に高くなっているからです。（作物に限らず動物の細胞も同じです）この現象は他に類を見ない効果であり、素晴らしい特徴です。

結論として氣施氣は100%の効果を発揮してくれる活水装置であり、その仕組みは他に類をみない先端技術です。

大いに期待して、皆様のご利用を願う次第です。 （完）

追記

最高なことは、一切の事実は既に理論であることを理解することであろう。

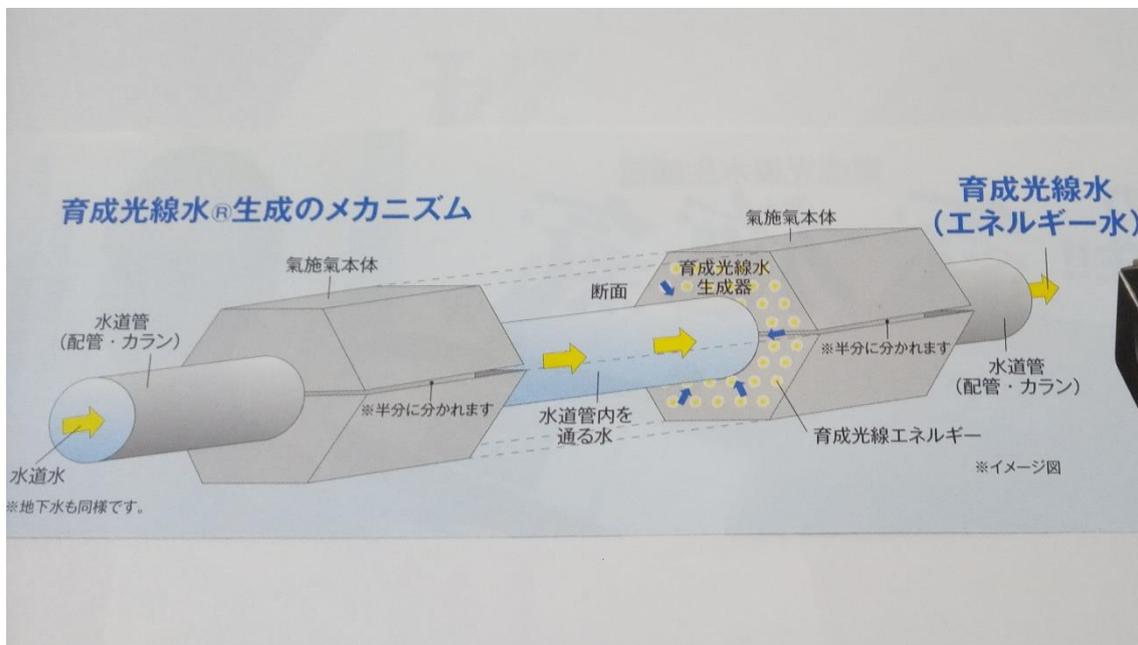
現象の背後にものを求めようとするな。現象そのものが学理なのだ。

ゲーテ

<要領>

1. 配管、カラン、ホースなどの外側に挟み込むだけ（水には全く触れない）
2. ランニングコスト 0 円（電気・ガスなどの他エネルギーは一切必要ありません）
3. 取付け・取外し簡単 持ち運び可能（どなたでも出来ます。飛行機内可）
4. 半永久（S U S 304 仕上げ）、安全確認済
5. 商標登録済（2 件）
6. 日本製

<気施肥・メカニズム>



令和 5 年

株式会社エコ・サッポロ

代表取締役 高橋 優